

皮膚病態学分野

A 欧文

A-a

1. Yoshizaki A, Komura K, Iwata Y, Ogawa F, Hara T, Muroi E, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S: Clinical significance of serum HMGB-1 and sRAGE levels in systemic sclerosis: association with disease severity. *J Clin Immunol* 29(2): 180-189, 2009 (IF:3.248)
2. Kuwatsuka Y, Ogawa F, Iwata Y, Komura K, Muroi E, Hara T, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S: Decreased levels of autoantibody against histone deacetylase 3 in patients with systemic sclerosis. *Autoimmunity* 42(2): 120-125, 2009 (IF:2.525)
3. Hara T, Ogawa F, Yanaba K, Iwata Y, Muroi E, Komura K, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S: Elevated serum concentrations of polymorphonuclear neutrophilic leukocyte elastase in systemic sclerosis: association with pulmonary fibrosis. *Rheumatol* 36(1): 99-105, 2009 (IF:3.282)
4. Mugii N, Hasegawa M, Hamaguchi Y, Tanaka C, Kaji K, Komura K, Ueda-Hayakawa I, Horie S, Ikuta M, Tachino K, Ogawa F, Sato S, Fujimoto M and Takehara K: Reduced red blood cell velocity in nail-fold capillaries as a sensitive and specific indicator of microcirculation injury in systemic sclerosis. *Rheumatology* 48: 696-703, 2009 (IF:4.136)
5. Iwata Y, Yoshizaki A, Ogawa F, Komura K, Hara T, Muroi E, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S: Increased serum pentraxin 3 in patients with systemic sclerosis. *J Rheumatol* 36(5): 976-983, 2009 (IF:3.282)
6. Ishii T, Fujita T, Matsushita T, Yanaba K, Hasegawa M, Nakashima H, Ogawa F, Shimizu K, Takehara K, Tedder TF, Sato S, Fujimoto M: Establishment of experimental eosinophilic vasculitis by IgE-mediated cutaneous reverse passive arthus reaction. *Am J Pathol* 174(6): 2225-2233, 2009 (IF:5.697)
7. Komura K, Iwata Y, Ogawa F, Yoshizaki A, Yamaoka T, Akiyama Y, Hara T, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S: Low zone tolerance requires ICAM-1 expression to limit contact hypersensitivity elicitation. *J Invest Dermatol* 129(11): 2661-2667, 2009 (IF:5.251)
8. Yanaba K, Yoshizaki A, Muroi E, Hara T, Ogawa F, Usui A, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S: Elevated circulating TWEAK levels in systemic sclerosis: Association with lower frequency of pulmonary fibrosis. *J Rheumatol* 36(8): 1657-1662, 2009 (IF:3.282)
9. Yanaba K, Muroi E, Yoshizaki A, Hara T, Ogawa F, Shimizu K, Yozaki M, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S: Serum CXCL16 concentrations correlate with the extent of skin sclerosis in patients with systemic sclerosis. *J Rheumatol* 36(9): 1917-1923, 2009 (IF:3.282)
10. Akiyama Y, Ogawa F, Iwata Y, Komura K, Hara T, Muroi E, Bae SJ, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S: Autoantibody against activating transcription factor-2 in patients with systemic sclerosis. *Clin Exp Rheumatol* 27(5): 751-757, 2009 (IF:2.364)
11. Iwata Y, Yoshizaki A, Komura K, Shimizu K, Ogawa F, Hara T, Muroi E, Bae SJ, Takenaka M, Yukami T, Hasegawa M, Fujimoto M, Tomita Y, Tedder TF, Sato S: CD19, a response regulator of B lymphocytes, regulates wound healing through hyaluronan-induced TLR4 signaling. *Am J Pathol* 175(2): 649-660, 2009 (IF:5.697)
12. Yoshizaki A, Sato S: Olopatadine hydrochloride inhibits scratching behavior induced by a proteinase-activated receptor 2 agonist in mice. *J Dermatol Sci* 56(2): 136-139, 2009 (IF:2.973)
13. Tomita H, Iwata Y, Ogawa F, Komura K, Shimizu K, Yoshizaki A, Hara T, Muroi E, Yanaba K, Bae SJ, Takenaka M, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S: P-selectin glycoprotein ligand-1 contributes to wound healing predominantly as a p-selectin ligand and partly as an e-selectin ligand. *J Invest Dermatol* 129(8): 2059-2067, 2009 (IF:5.251)
14. Yoshizaki A, Nakayama T, Naito S, Sekine I: Expression patterns of angiopoietin-1, -2, and tie-2 receptor in ulcerative colitis support involvement of the angiopoietin/tie pathway in the progression of ulcerative colitis. *Dig Dis Sci* 54(10): 2094-2099, 2009 (IF:1.583)

B 邦文

B-a

1. 佐藤伸一：アトピー性皮膚炎の病態 - 免疫の観点から . *医学のあゆみ* 228(1): 20-24, 2009
2. 佐藤伸一：【特集：膠原病】 B細胞異常と膠原病 . *日本臨牀* 67(3): 477-481, 2009
3. 富田 元, 穂山雄一郎, 小川文秀, 竹中 基, 佐藤伸一, 末吉富美子, 西本勝太郎：アナフィラクトイド紫斑を合併した IgA 天疱瘡の 1 例 . *皮膚科の臨床* 51(3): 277-281, 2009
4. 横山洋子, 小村一浩, 岩田洋平, 原田孝司, 佐藤伸一：IgE 型抗体 BP180 抗体が病勢と関連した難治性水疱性類天疱瘡の 1 例 . *皮膚科の臨床* 51(3): 291-294, 2009

5. 藏岡 愛, 山岡俊文, 小川文秀, 佐藤伸一, 関山華子: 歩行困難をきたした仙腸関節炎を伴い、扁桃摘出にて軽快した掌蹠膿疱症の1例. 西日本皮膚科 71(1): 21-25, 2009
6. 藏岡 愛, 山岡俊文, 竹中 基, 佐藤伸一, 西本勝太郎: 左肘部に見られた菌腫型 *Nocardia transvalensis* 感染症の1例. 日本皮膚科学会雑誌 119(2): 197-203, 2009
7. 吉崎 歩, 佐藤伸一: 強皮症における皮膚硬化の免疫学的病態. リウマチ科 41(2): 143-151, 2009
8. 藤本 学, 佐藤伸一: . 免疫・アレルギー学的検査法 膠原病の鑑別と検査法. MB Derma 151: 79-86, 2009
9. 岩田洋平, 吉崎 歩, 小村一浩, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一: CD19 欠損による創傷治癒遅延と細胞増殖因子の硬化について. 皮膚の科学 8(増 11): 52-57, 2009
10. 竹中 基, 佐藤伸一: 蕁麻疹患者に対するセチリジン塩酸塩の治療効果と QOL の検討. 西日本皮膚科 71(2): 186-191, 2009
11. 竹中 基, 佐藤伸一, 西本勝太郎: 長崎地方のスポトリコース 16 例の検討-2002 年以降の集計と 2001 年までの集計例との比較検討-. 日本医真菌学会雑誌 50(2): 101-108, 2009
12. 池原 進, 室井栄治, 穠山雄一郎, 吉崎 歩, 原 肇秀, 佐藤伸一: 分子標的治療薬ワファエブ[®]による手足症候群の5例. 日本皮膚科学会雑誌 119(6): 1091-1095, 2009
13. 穠山雄一郎, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一, 林 徳真吉: 肥厚性硬膜炎を合併した Wegener 肉芽腫症の1例. 皮膚科の臨床 51(6): 807-811, 2009
14. 吉崎 歩, 佐藤伸一: ペオタスチンベンシル酸塩は、一酸化窒素供与体によって誘発される掻痒行動を抑制する. 臨牀と研究 86(6): 759-762, 2009
15. 穠山雄一郎, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一: 油症認定患者血清中抗 SS-A 抗体, 抗 SS-B 抗体の検討. 福岡医学雑誌 100(5): 124-126, 2009
16. 築場広一, 佐藤伸一: 自己免疫の発生に関する要因 自己免疫の発生と CD19. 臨床免疫アレルギー科 51(4): 343-349, 2009
17. 築場広一: レギュラトリー B 細胞. 日本臨床免疫学会会誌 32(3): 135-141, 2009
18. 穠山雄一郎, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一, 末吉富美子: 神経障害が残存した Churg-Strauss Syndrome の2例. 西日本皮膚科 70(1): 8-11, 2009
19. 藏岡 愛, 穠山雄一郎, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一, 赤星吉徳: Klinefelter 症候群に伴った難治性下腿潰瘍の1例. 西日本皮膚科 71(4): 392-395, 2009
20. 小池雄太, 山岡俊文, 小川文秀, 佐藤伸一: ポセンタン内服が有効であった全身性強皮症患者における難治性皮膚潰瘍の1例. 西日本皮膚科 71(4): 396-399, 2009
21. 本間喜蔵, 西本勝太郎, 竹中 基: 長崎県における *Trichophyton tonsurans* 感染症. 西日本皮膚科 71(4): 434-437, 2009
22. 山岡俊文, 室井栄治, 裴 祥宰, 吉崎 歩, 佐藤伸一: エバスチンは L-selectin の切断を促進する. 臨牀と研究 86(8): 1051-1053, 2009
23. 三根義和, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一: 【小児皮膚筋炎】臨床例 免疫グロブリン大量静注療法が奏効した例. 皮膚病診療 31(9): 1059-1062, 2009
24. 小村一浩, 濱口儒人, 長谷川 稔, 佐藤伸一, 竹原和彦: 斑状強皮症を合併した好酸球性筋膜炎の1例. 皮膚科の臨床 51(9): 1141-1143, 2009
25. 山岡俊文, 室井栄治, 裴 祥宰, 富村沙織, 穠山雄一郎, 坂本 藍, 小池雄太, 池原 進, 小川麻子, 小川文秀, 竹中 基, 佐藤伸一: 中毒性表皮壊死症の2例. 西日本皮膚科 71(5): 497-502, 2009
26. 小川文秀: 識別診断 皮膚病変から学ぶアレルギーの識別. 皮膚アレルギーフロンティア 7(2): 129-131, 2009
27. 藏岡 愛, 原 肇秀, 小川文秀, 佐藤伸一: Generalized morphea 様の皮疹を伴った全身性強皮症の1例. 西日本皮膚科 71(5): 479-482, 2009
28. 藏岡 愛, 穠山雄一郎, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一, 廣瀬寮二: 円板状エリテマトーデス皮疹上に生じた下口唇有棘細胞癌の1例. 皮膚科の臨床 51(4): 553-556, 2009
29. 三根義和, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一: 集学的治療によって治癒した全身性強皮症に伴う足趾壊疽の1例. 皮膚科の臨床 51(12): 1731-1735, 2009
30. 星野 藍, 山岡俊文, 岩田洋平, 小川文秀, 佐藤伸一: 巨大な腫瘍を形成した Pilomatrix carcinoma の1例. 皮膚科の臨床 51(10): 1287-1290, 2009
31. 陳 文雅, 西本勝太郎, 中田雅也, 本多 恵: ホームレス患者に見られた慢性の皮膚変化. 掖済会長崎病院会報 10: 18-21, 2009 (2008 年度版)
32. 山岡俊文, 小川文秀, 清水和宏, 佐藤伸一: サルコイドーシスを合併した全身性強皮症の2例. 臨床皮膚科 63(13): 1007-1011, 2009
33. 廣瀬寮二, 三根義和, 武石恵美子: 日光角化症に対する Serial excision の適応についての検討. 日本皮膚外科学会

誌 13(1): 60-61, 2009

34. 竹中 基: 特集 アレルギー疾患の QOL 障害 . 各論 3) 蕁麻疹患者の QOL ~ ストレスマネージメントを中心に ~ . アレルギー・免疫 16(12): 1902-1907, 2009
35. 西本勝太郎, 陳 文雅: パップ剤による接触皮膚炎 . 掖済会長崎病院会報 10: 14-17, 2009 (2008 年度版)
36. 坂本 藍, 原 肇秀, 小川文秀, 佐藤伸一, 加藤賢三, 藤本 学: パクリタキセル投与後に発症した全身性強皮症の 1 例 . 西日本皮膚科 71(6): 556-560, 2009
37. 本間喜蔵, 西本勝太郎, 竹中 基: 長崎県における Trichophyton tonsurans 感染症 . 西日本皮膚科 71(4): 434-437, 2009
38. 清水和宏: 抗カルジオリピン抗体症候群など凝固異常 . 日本皮膚科学会雑誌 119(13): 2709-2711, 2009
39. 西本勝太郎: 深在性皮膚真菌症 - なにが問題か . 日本皮膚科学会雑誌 119(13): 2945-2947, 2009
40. 西本勝太郎: 統計・集計からみた Trichophyton tonsurans 感染症 . 皮膚病診療 31(4): 482-487, 2009

B-b

1. 吉崎 歩, 佐藤伸一: 自己免疫疾患に伴う皮膚病変 強皮症における皮膚硬化の免疫学的病態 . リウマチ科 41(2): 143-151, 2009
2. 清水和宏, 佐藤伸一: 乾癬療法に対する抗体療法 . BIO Clinica 24(2): 141-146, 2009
3. 佐藤伸一: 特集 痒みをめぐる最近の話題 インパース・アゴニストとしての抗ヒスタミン薬の効き方・使い方について教えてください . Q&A でわかるアレルギー疾患 5(1): 48-50, 2009
4. 富村沙織, 小川文秀, 佐藤伸一: 先天性外胚葉形成不全症 . 小児科診療 (増 72): 198, 2009
5. 築場広一, 佐藤伸一: 全身性強皮症: サイトカインと炎症性疾患・自己免疫疾患 . 炎症と免疫 17(4): 446-450, 2009
6. 築場広一, 佐藤伸一: 膠原病における手の皮疹 強皮症と関連する所見【Raynaud 現象 - 手の潮紅】 . Visual Dermatology 8(10): 1022-1023, 2009
7. 原 肇秀: 膠原病における手の皮疹 強皮症と関連する所見【手指皮膚硬化】 . Visual Dermatology 8(10): 1024-1025, 2009
8. 室井栄治: 膠原病における手の皮疹 強皮症と関連する所見【爪上皮下出血点】 . Visual Dermatology 8(10): 1026-1027, 2009
9. 西本勝太郎: 生態学からみた皮膚糸状菌症への対応 . 日本医真菌学会雑誌 50(1): 1-4, 2009

B-c

1. 小野寺雅也, 佐藤伸一: ステロイド外用剤と内服の違い. 正しいステロイド剤の使い方 2. 外用剤編 全面改訂版, 塩原哲夫(編集), 医薬ジャーナル社, 東京, pp10-15, 2009
2. 佐藤伸一: 炎症性角化症 . 皮膚疾患最新の治療 2009-2010, 滝川雅浩, 渡辺晋一(編集), 南江堂, 東京, pp125-126, 2009
3. 竹中 基: アトピー性皮膚炎は増えている? . 小児科臨床ピクシス 7 アトピー性皮膚炎と皮膚疾患, 五十嵐 隆(総編集), 中山書店, 東京, pp4-5, 2009
4. 佐藤伸一: 13. 関節リウマチ. 第 2 版皮膚疾患診療実践ガイド, 宮地良樹, 古川福実(編集), 文光堂, 東京, pp402-404, 2009
5. 佐藤伸一: 14. リウマチ熱. 第 2 版皮膚疾患診療実践ガイド, 宮地良樹, 古川福実(編集), 文光堂, 東京, pp404-405, 2009
6. 佐藤伸一: メディクイズ傑作 10 選「皮膚筋炎」. 日経メディクイズ(2009/7 月号)

B-d

1. 貞森直樹, 三根真理子, 本田武夫, 早田みどり, 高原 耕, 堀 真, 貞森道子, 藤原直子, 清水和宏, 佐藤伸一: 8 長崎原爆被爆者における 1998 年以降の皮膚癌発生率調査 . 長崎医学会雑誌 83(特集号): 248-253, 2009
2. 室井栄治: 【生涯教育シリーズ】自己免疫性水疱症 . 長崎市医師会報 43(9): 27-29, 2009
3. 佐藤伸一, 石川 治, 尹 浩信, 山本俊幸, 遠藤平仁, 川口鎮司, 桑名正隆, 高橋裕樹, 藤本 学, 小川文秀, 後藤大輔: 総括研究報告: 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発 . 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 1-4, 2009
4. 小川文秀, 原 肇秀, 室井栄治, 吉崎 歩, 佐藤伸一: Tight skin(TSK)マウスにおけるヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の効果 . 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 10-16, 2009
5. 佐藤伸一, 吉崎 歩, 築場広一, 岩田洋平, 小村一浩, 小川文秀: 強皮症合併間質性肺炎に対するシクロホスフ

- アミドパルス療法後の維持療法としてミゾリピンを用いた 2 例．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 48-53, 2009
6. 長谷川 稔, 石川 治, 尹 浩信, 遠藤平仁, 川口鎮司, 桑名正隆, 後藤大輔, 高橋裕樹, 藤本 学, 久保正英, 佐々木哲雄, 室 慶直, 竹原和彦, 佐藤伸一: 強皮症早期重症例の長期経過観察 - 中間報告 - . 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 64-72, 2009
 7. 佐藤伸一, 吉崎 歩, 築場広一, 岩田洋平, 小村一浩, 小川文秀: プレオマイシン誘発強皮症マウスモデルにおける細胞接着分子の役割に関する検討．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp.73-89, 2009
 8. 長谷川 稔, 田中千洋, 濱口儒人, 藤本 学, 佐藤伸一, 竹原和彦: プレオマイシン誘導性強皮症マウスモデルにおける inducible costimulator(ICOS)、inducible costimulator ligand(ICOSL)の役割に関する検討．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 90-99, 2009
 9. 稲垣 豊, 東山礼一, 石川 治, 渋谷弥生, 佐藤伸一: 皮膚創傷治癒ならびに線維化過程における骨髄由来細胞のコラーゲン産生への関与．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 100-107, 2009
 10. 川口鎮司, 桑名正隆, 藤本 学, 土屋尚之, 長谷川 稔, 佐藤伸一, 大田ゆう子, 高木香恵, 栃本明子, 竹原和彦, 伊東郁恵: CTGF 遺伝子多型と強皮症発症との関与．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 115-120, 2009
 11. 土屋尚之, 伊東郁恵, 川口鎮司, 川崎 綾, 長谷川 稔, 藤本 学, 竹原和彦, 佐藤伸一, 原 まき子: 全身性強皮症と interferon regulatory factor 5(IRF5)領域遺伝子多型の関連．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 121-128, 2009
 12. 石川 治, 山中正義, 岡田悦子, 佐藤伸一: タキサン製剤による皮膚硬化形成機序についての検討．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 129-136, 2009
 13. 石川 治, 岡田悦子, 山中正義, 佐藤伸一: ガドリニウムによる皮膚線維化・石灰化形成機序についての検討．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 137-145, 2009
 14. 石川 治, 横山洋子, 安部正敏, 佐藤伸一: 低酸素刺激による真皮線維芽細胞の I 型コラーゲン代謝と HIF - 1 との関連．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 153-159, 2009
 15. 佐藤伸一, 岩田洋平, 吉崎 歩: 全身性強皮症における血清 Pentraxin3 (PTX3)値と臨床症状の検討．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 175-182, 2009
 16. 藤本 学, 濱口儒人, 長谷川 稔, 竹原和彦, 佐藤伸一: 全身性強皮症患者血清における血管新生因子の検討．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 183-190, 2009
 17. 佐藤伸一, 室井栄治, 原 肇秀, 築場広一, 小川文秀: 全身性強皮症患者におけるダーモスコープを用いた爪上皮出血点ならびに拡大した爪郭毛細血管ループの観察．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 198-203, 2009
 18. 麦井直樹, 長谷川 稔, 藤本 学, 生田宗博, 染矢富士子, 八幡徹太郎, 堀江 翔, 佐藤伸一, 竹原和彦: 強皮症の肺病変の評価における 6 分間歩行後の前額部経皮的末梢酸素飽和度の有用性の検討．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 209-218, 2009
 19. 藤本 学, 濱口儒人, 長谷川 稔, 竹原和彦, 佐藤伸一: 抗 U3 RNP 抗体陽性全身性強皮症 8 例の臨床的特徴について．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 237-243, 2009
 20. 石川 治, 須藤麻梨子, 長谷川道子, 永井弥生, 佐藤伸一: 薬剤性赤芽球癆を伴った全身性強皮症の 1 例．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 244-250, 2009
 21. 石川 治, 長谷川道子, 曾我部陽子, 永井弥生, 佐藤伸一: Tumoral calcinosis を合併した全身性強皮症の 1 例．厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成 20 年度総括・分担研究報告書, pp. 251-254, 2009

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	20	3	1	97

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
佐藤伸一・教授	油症治療調査委員会委員	厚生労働省全国油症治療研究班
佐藤伸一・教授	カネミ油症健康実態調査項目等ワーキンググループ委員	厚生労働省全国油症治療研究班
佐藤伸一・教授	特定疾患対策協議会委員	長崎県
佐藤伸一・教授	油症対策委員会委員	長崎県
佐藤伸一・教授	油症研究班班長	長崎県
清水和宏・准教授	油症対策委員会委員	長崎県
佐藤伸一・教授	理事	日本研究皮膚科学会
佐藤伸一・教授	評議員, 雑誌編集委員	日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会
佐藤伸一・教授	評議員	日本乾癬学会
佐藤伸一・教授	評議員	日本皮膚悪性腫瘍学会
佐藤伸一・教授	評議員	日本臨床免疫学会
佐藤伸一・教授	Journal of Dermatological Science, Section Editor	日本研究皮膚科学会
佐藤伸一・教授	Arthritis & Rheumatism, Advisory Editor	アメリカリウマチ学会
小川文秀・講師	雑誌編集委員	日本臨床免疫学会

競争的研究資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
佐藤伸一・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)一般 創傷治癒における、セレクチンとそのリガンドの関与
清水和宏・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)一般 免疫複合体病における治療ターゲットとしての活性酸素種及び NO, CO, H ₂ S の解析
竹中 基・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)一般 アトピー性皮膚炎の痒みの発生機序の解明と新規治療法の開発
室井栄治・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 強皮症モデルマウスにおける皮膚硬化に対する硫化水素による抗酸化療法の検討
原 肇秀・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 免疫複合体病における治療ターゲットとしての血小板および接着因子の解析
清水和宏・准教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(食品の安心・安

			全確保推進研究事業) 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究
佐藤伸一・教授	厚生労働省	代表	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発
小川文秀・講師	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発
小川文秀・講師	農林水産省	分担	ツバキの新機能活性技術及び高生産性ツバキ林育成技術の開発

その他

非常勤講師等

氏名・職	職名(担当科目)	関係機関名
清水和宏・准教授	非常勤講師(皮膚科学)	県立シーボルト大学
清水和宏・准教授	非常勤講師(皮膚科学)	玉木女子高等学校
清水和宏・准教授	非常勤講師(皮膚科学)	長崎医療技術専門学校
清水和宏・准教授	非常勤講師(皮膚科学)	長崎医師会看護専門学校
清水和宏・准教授	日本医師会生涯教育講座	長崎県医師会

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
竹中 基・講師	アトピー性皮膚炎	福岡市・KBC 九州朝日放送	2009年 4月19日	アトピー性皮膚炎(成人)について解説
小川文秀・講師	皮膚の病気について	長崎新聞	2009年 10月19日	皮膚がんの早期発見、早期治療の重要性について啓蒙した

講座における社会活動

カネミ油症の診断，治療の改善を目的として設けられた厚生労働省の食品安全確保研究事業に参加し，下記の協力を行ってきた。

- (1) 油症検診：昭和43年以来，毎年1回長崎県下各地での検診を行っている。
- (2) 研究事業：油症患者の毛髪，皮下脂肪織，皮脂中の有機塩素化合物の定量，ポルフィリン代謝異常に対する影響などを検討し，油症にみられる全身的悪影響を検討，発表している。

皮膚の日に公開講座を開いて啓蒙活動を行っている。

長崎県医師会が実施している日本医師会生涯教育講座に協力している。